

◇令和6年度「給水のためのタイムアウト」の取り扱いについて◇

宮城県中学校体育連盟バレーボール専門部

熱中症予防の観点から、大会で「給水のためのタイムアウト」を採用する場合、次のように取り扱うこととする。

- 1 大会では、各セット（第3セットを含む）において、リードするチームが13点に達したとき、30秒間の給水のためのタイムアウト(以下WTO)が自動的に適用される。その際、副審が吹笛をし、コートを退くよう促し計時をする。ハンドシグナルは示さない。
- 2 このWTOは給水を目的とするものであり、その間選手はウォームアップエリア付近で給水を行う。またチームスタッフはベンチに座っていることとする。
(給水を行うか否かの判断は、選手本人の意思による。給水を行わなくても同エリアにとどまること。控えの選手も同様である。)
- 3 第3セットは、13点（15点制の場合は8点）でチェンジコートをした後に引き続きWTOとなる。その際、主審側を通過してコートを移動したチームの最後尾の選手がベンチ側のサイドラインを通過した時点で、副審が吹笛をし、計時を始める。
- 4 正規の中断の要求やリベロリプレイスメントよりもWTOを優先する。正規の中断やリベロリプレイスメントを行う場合は、WTOの後にその手続きをする。
- 5 WTOの実施の有無を、大会要項に明記し周知徹底する。